

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

東京都港区海岸1-1-1
ニューピア竹芝ノースタワー17階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 坂 慎 義 夫

令和5年10月3日

1. 名称	ラクビス・ダイバー II L=85 (垂木どめ)
2. 試験依頼者	株式会社タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	垂木-軒桁接合部の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木質構造試験等業務における接合部性能試験業務方法書(令和2年9月11日制定)」による。
5. 試験体仕様	1) 接合金物(接合具) 「ラクビス・ダイバー II L=85」 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.15~0.23%,Mn;0.60~1.00%,P;0.030%以下,S;0.050%以下 寸 法：頭部径φ12.5mm~13.5mm 胴部径φ3.9mm 1条ねじ部：ねじ山径φ4.9mm ねじ谷径φ3.8mm ねじピッチ2.8mm L=10mm 2条ねじ部：ねじ山径φ5.5mm ねじ谷径φ3.2mm ねじピッチ5.6mm L=35mm 全長L=85mm 表面処理：エコート ^{*1} WH処理 2) 軸組材料 垂木材：38mm×45mm×600mm 無等級製材 スギ 含水率：7.5~10.0% 全乾密度：0.40~0.43g/cm ³ 横架材：105mm×105mm×600mm 無等級製材 スギ 含水率：6.5~8.0% 全乾密度：0.43~0.53g/cm ³ <small>*1 エコートは、NOFメタルコーティングス株式会社の登録商標</small>
6. 試験条件等	当該接合金物(接合具)は垂木の脳天から、横架材に対して40mm納まる状態で留め付けた。 試験体は、垂木を上側にして横架材を鋼製架台に置き、垂木芯から横架材の木口方向両側に200mmの位置で角座金W4.5×40及びM12ボルト・ナットを用いて鉄骨架台と緊結した。 (締付トルク管理値：20N・m) 加力は、垂木引張治具を用いて垂木を鉛直上方向に载荷した。加力点は、垂木の曲げ破壊が先行しないよう、横架材芯から垂木木口両側に150mmの位置とした。
7. 試験結果	短期基準接合耐力(5%下限値) 2.7 kN 短期基準接合耐力(50%下限値) 3.1 kN (参考 [*]) <small>※参考：木造軸組構造住宅の構造計画 表4-2 基準風速等に応じた木造小屋組の接合方法 (発行：公益財団法人 日本住宅・木材技術センター) (詳細については接合部性能試験報告書に示す)</small>
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	令和5年9月7日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 阪口 明弘 千葉 博 工藤 健 石田 恵菜

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。